



男性用トイレ 内観

西日本こども研修センターあかし

子どもの最善の利益のために支援者の専門性向上を図る研修センター

子ども虐待対応機関の指導的立場にある職員等を対象に、指導者としての資質の向上を図るための研修センター。災害時の帰宅困難者受け入れも考慮し、1Fに災害配慮トイレ/レジリエンストイレを採用。公共機関として様々な器具を備えた機能性・利便性に優れた使いやすいトイレ空間になっている。



外観全景

DATA

施主：一般財団法人 あかしこども財団
 設計：大和ハウス工業株式会社
 施工：大和ハウス工業株式会社
 所在地：兵庫県明石市大久保町ゆりのき通1-4-7
 竣工：2020年3月

商品情報

<一般トイレ>
 レジリエンストイレ : BC-P112SA・DT-PB150CH
 クイックタンクトイレ : BC-P110SA・DQ-PA150CH
 シャワートイレ : CW-PB11M/F-NE
 小便器 : U-A51AP
 小便器手すり : KF-701AE
 水栓金具 : AM-200
 洗面器、水石入れ : L-2094FCS,KF-24F
 <多機能トイレ>
 多機能トイレバック : PTWC-EC101R1A1AWWW
 ユニバーサルシート : AC-US-41



1Fトイレ 平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

入り口まわり



1F男性用トイレ入り口

2F女性用トイレ入り口

すっきりとしたトイレ入り口まわりは、1F、2Fそれぞれの雰囲気合ったトイレサインで通路から確認しやすくなっている。

施設管理者様の声

西日本こども研修センターあかしは、全国の児童相談所や児童福祉施設などの子ども虐待対応機関の職員を対象に、子ども虐待対応に関する高度専門的な研修を行う国の虐待・思春期問題情報研修センター事業を実施する研修機関です。

当研修センターは、所在地の明石市の避難所等に指定されているわけではありませんが、公的な施設の使命として、災害時などには、避難者や帰宅困難者の対応に当たることも考慮した施設整備を行いました。

トイレについては、災害による断水時でも使用できるものとして、マンホールトイレや凝固剤を使用した簡易トイレの導入などを検討していたところ、たまたま施工業者よりこのパブリック向けレジリエンストイレの紹介があり、採用することとしました。

レジリエンストイレは、通常はタンク式のトイレとまったく変わらないので、これが断水時対応型トイレとはだれも気がつきません。タンクのねじを外し、中のピンを外せば、簡単に断水時でも使用できるトイレに早変わりします。特によく考えられていると感じるのは、断水時の仕様に変わった場合に、1回の水の使用量が1リットルになることです。これにより、市販の2リットルのペットボトルをタンクに差し込めば、十分に2回分の用を足すことができます。災害時に、避難した高齢者がトイレに行く回数を減らすために水分補給を控えて脱水症状になるような事例がありますが、レジリエンストイレは、バケツなどを使って水を運ぶ力仕事の必要がないので、多くの人が気兼ねなく、利用することができます。また、使い方も普段とほとんど変わらないのでとても衛生的です。

今後このレジリエンストイレが活躍するような大きな災害が起こらないことを願うばかりですが、普段は普通のトイレと変わらないので、職員がレジリエンストイレの存在自体を忘れてしまわないよう、もしもの時に備えて、定期的に訓練を実施したいと考えています。

一般財団法人 あかしこども財団 / 片岡様

1F 多機能トイレ



オストメイト専用の流しの他、着替えや荷物置きなど、多目的に利用できるユニバーサルシートも併設している。

1F 男性用トイレ



クイックタンク式床置便器を採用。フロントパネルの色も空間に合わせている。災害時に備えて、一部のトイレはレジリエンストイレを採用。

2F 男性用トイレ



小便器はセンター一体形を採用。床には尿垂れを考慮し、汚垂石を設置している。

2F 女性用トイレ



大便器には連続洗浄が可能で、見た目もスッキリした印象のクイックタンク式床置便器を採用。フロントパネルの色も男性用トイレと変えることでトイレ空間をコーディネートしている。また、洗面エリアとは別にパウダーコーナーを設け、研修の休憩時間の集中利用に配慮している。